

# COUNTRY RISK WEEKLY BULLETIN

07 October 2009

## IN THE HEADLINES



ルーマニア

民主自由党(DLP)と社民党(SDP)の10か月に亘る大連立は先週、ポック首相(DLP)がニカ内務大臣(SDP)を解任してSDPが連立から抜けたことによって崩壊した。新しい政府は大統領選実施前には成立しないものと思われ、その選挙は11月22日で、決選投票は12月6日になる予定である。両党とも候補者を推薦しているが、大統領が首相を罷免し新しい首相を任命することができるため、その選挙結果は重要である。しかし、この政治的な停滞は、IMFに年末までに求められている財政改革を遅らせる可能性があり、スタンドバイ取極の次の引き出しを危険に晒している。



サウジアラビア

アブドゥラ王は主要な宗教家を宗教指導者評議会の任務から解任したが、これは王族と宗教指導者階層の違いを垣間見る数少ない機会であり、また、改革の遅さに対するアブドゥラ王の苛立ちを示したのかもしれない。この宗教家は、サウジアラビアが科学の最先端に追いつくための施策として開校したアブドゥラ国王科学技術大学が男女共学にすることを批判していた。社会・教育面での改革はわずかなものになり、政治面での自由化は非常に限られたものになるだろう。しかし、世界銀行の2010年のランキングにおいては、サウジアラビアはビジネスのしやすさに関しては183カ国中13位に位置付けられている。



ガーナ

アフリカ開発銀行と他の機関は当該国のカカオ片に対して、2009/10年の収穫を可能とするためのUSD12億ドルに上る短期貸付を承認した。2008/9年(9月に終了)のカカオの収穫は前年の680千トンを上回る730千トンに上り、2012年までに1000千トンまで達成させようとする計画もある。世界最大の生産者(コートジボワール)側で供給キャパシティの問題がある中、第2位のガーナはココアの価格が20年来の高値にある中、便益を享受している。また、石油メジャーがオフショアのジュビリー油田に投資していることもあり、全体的な経済的勢いは増している。ただし、財政赤字と将来の原油収入については注意深い管理が必要になってくるだろう。



ギニア

市民の権利の剥奪と反対デモに対する軍部の暴力的な反応を受け、フランスは、2008年12月に支配を開始した軍事政権をもはや支持することはできないとし、国際的な取り調べを要請した。アフリカ連合はクーデターの指導者であるムサ・ダディ・カマラ大尉に対し、同氏が来年1月に予定されている次期大統領選には立候補しない旨を発表するのに10月中旬まで与え、応じない場合は制裁を実施すると警告した。当該地域他国による調停が行われるだろう。一方、世界最大のボーキサイト供給源で運営をしている鋳物会社の生産は比較的影響を受けていないとしたが、アルミの価格上昇圧力はかかるだろう。

## ALSO IMPORTANT---



ドミニカ共和国

IMFの職員レベルにおける28か月のスタンドバイ取極(USD17億ドル)が先週末合意された。これは2009年にはゼロだった成長率を2010年には1.5%程度となる見込みとしている当該政府の安定と成長を回復させようとする努力を下支えし、他の国際金融機関からの資金流入を促すものになり、そのことで政府の資金ギャップを埋め、対外的な資金調達圧力を緩和することになるだろう。同プログラムは2009年のプライマリー財政赤字を0.8%とし(以前の政府目標の0.7%は既に達成不可能となっていた)、2010年には均衡させ、それを2012年には2%の黒字とすることを設定している。



セルビア

第2四半期の実質GDPは前年同期比4%縮小した(第1四半期には-4.2%)。特に製造業で生産が落ち込み(前年同期比20%、第1四半期には20.9%)、建設も同様だった(同16.1%、第1四半期13.8%)。2009暦年において実質GDPは4%程度縮小することが見込まれ、2010年の成長率はわずか1%程度になるだろう。セルビアディナール/ユーロ為替レートは2009年3月にIMFのスタンドバイ取極が合意されてから安定しているが、それでも2008年9月時点より21%も減価している。しかし、今年に入ってから平均9%程度の高いインフレ率とIMFのスタンドバイ取極の第2回のレビューの延期が、為替レートの下落圧力をかけている。

## COUNTRY REVIEW SUMMARIES



ハンガリー

2008年秋の世界的な金融危機の深化はハンガリー経済に大きな打撃を与え、同国はIMF主導の200億ユーロの支援パッケージのプログラムを実施する羽目になった。この資金は外貨準備高を積み、市場を安定化させ、対外債務履行義務にかかる対外資金調達リスクを、少なくともIMF支援プログラムが完了する2010年春のものまでは緩和させるが、これもIMFコンディションの継続的な遵守にかかっている。通貨・銀行および対外流動性にかかるリスクは依然として顕著であり、深い景気後退(実質GDPは上半期に前年同期比7.1%減少)によって急激に増加している倒産件数は深刻な懸念材料である。



ニカラグア

同国経済は第2四半期に急激に縮小したが、2010年には控えめに向上はせずである。しかし、公的債務の様相が財政調整を必要としているため政策はIMFの貧困削減成長プログラム(PRGF)と整合的である必要があり、オルテガ大統領が選好する急進的な左よりのアジェンダを避けることになるだろう。オルテガ大統領の憲法改正に対する意向については相当の不確実性が取り巻いている。この改正により2期連続で大統領の任期につくことが可能になり、この動きによってベネズエラ、エクアドルおよびボリビアの通ってきた道をたどる可能性が考えられるが、エネルギー資源による収入不足が抑制材料となるだろう。また、オルテガ氏はその行き過ぎた野望により、情勢不安を引き起こすかもしれない。

## IN BRIEF



先週の火曜日、金価格は記録的な高値を記録し、USD1,040/オンスとなった。(2008年の平均はUSD872/オンス)

Edited by Andrew Atkinson

The content of the report (which is subject to change without notice) reflects only our opinion, which is based on information received by us. Accordingly no warranty, representation or other assurance is given as to the accuracy or completeness of the report. The report is for general information and is not intended to address any requirements you may have, for which you must obtain independent advice. The report does not constitute any form of advice, recommendation or arrangement by Euler Hermes UK plc or by the Euler Hermes Group of Companies and must not be relied upon in the making of any decision, agreement or arrangement. © Euler Hermes UK plc 2008.